

# 青森県経済統計報告

平成 25 年 4 月 26 日  
企画政策部統計分析課

## 1 青森県の推計人口（平成 25 年 4 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,338,988 人（対前月 6,451 人減少）
自然動態	797 人減少（出生者数 704 人、死亡者数 1,501 人）
社会動態	5,654 人減少（転入者数 3,440 人、転出者数 9,094 人）

## 2 本県の経済動向（平成 25 年 2 月・3 月の経済指標を中心として）

### （1）経済概況

本県経済は、生産面は横ばい傾向にあるほか、消費面に弱い動きがみられる。

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 25 年 2 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年=100)は、季節調整済指数が 104.9 で、前月比 4.6%の低下となり、2 ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 94.4 で、前年同月比 6.8%の低下となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を下回った。 … 2
- (2-2) 雇用情勢 平成 25 年 2 月の定期給与は 217,688 円で前年同月比 0.4%減となった。総実労働時間は 149.5 時間で前年同月比 2.6%減、所定外労働時間は 8.9 時間で前年同月比 0.0%となった。平成 25 年 2 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.64 倍で、前月を 0.02 ポイント下回った。（※3 月分未公表につき前回報告と同じ） … 3
- (2-3) 物 価 平成 25 年 3 月の青森市消費者物価指数（平成 22 年=100）は、総合指数が 99.0 となり、前月と比べ 0.1%の下落、前年同月比 1.6%の下落となった。 … 4
- (2-4) 個人消費 ・平成 25 年 2 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 130 億 8,400 万円 で前年同月比 5.7%減となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは 7.9%減となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。  
・平成 25 年 3 月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比 1.2%増となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 2.8%減となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。  
・平成 25 年 3 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 6,814 台で、前年同月比 5.4%減となり、3 ヶ月連続で前年同月を下回った。 … 5
- (2-5) 住宅建設 平成 25 年 2 月の新設住宅着工戸数は 145 戸で、前年同月比 44.4%減となり、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。（※3 月分未公表につき前回報告と同じ） … 6
- (2-6) 電 力 平成 25 年 3 月の大口電力使用量は 2 億 4023 万 kWh で、前年同月比 1.3% 使用量 増となり、14 ヶ月連続で前年同月を上回った。 … 6

### （3）景気動向指数 C I（平成 25 年 2 月分）…………… 7

先行指数	108.7（前月を 5.3 ポイント下回り、3 か月ぶりに下降した）
一致指数	120.0（前月を 5.0 ポイント下回り、4 か月ぶりに下降した）
遅行指数	95.9（前月を 2.9 ポイント下回り、3 か月ぶりに下降した）

### （4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 25 年 4 月期）…………… 8

- 3 ヶ月前と比べた景気の現状判断 D I ……57.8(前期比 9.0 ポイント増、3 期ぶりに 50 を上回る)
- 3 ヶ月後の景気の先行き判断 D I ……60.4(前期比 2.4 ポイント増、2 期連続で 50 を上回る)

# 1 青森県の推計人口（平成25年4月1日現在）

## 【概況】

平成25年4月1日現在の本県推計人口は、1,338,988人で、前月に比べ6,451人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が704人、死亡者数が1,501人で、797人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が3,440人、転出者数が9,094人で、5,654人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減数		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
24.4.1	1,353,174	635,460	717,714	-0.414%	-5,625	-756	742	1,498	-4,869	3,822	8,691
24.5.1	1,352,715	635,268	717,447	-0.034%	-459	-661	716	1,377	202	3,907	3,705
24.6.1	1,352,007	634,904	717,103	-0.052%	-708	-674	832	1,506	-34	1,488	1,522
24.7.1	1,351,462	634,663	716,799	-0.040%	-545	-579	692	1,271	34	1,270	1,236
24.8.1	1,350,937	634,474	716,463	-0.039%	-525	-479	827	1,306	-46	1,829	1,875
24.9.1	1,350,523	634,348	716,175	-0.031%	-414	-548	823	1,371	134	1,931	1,797
24.10.1	1,349,968	634,195	715,773	-0.041%	-555	-445	736	1,181	-110	1,382	1,492
24.11.1	1,349,294	633,890	715,404	-0.050%	-674	-756	814	1,570	82	1,606	1,524
24.12.1	1,348,615	633,608	715,007	-0.050%	-679	-690	750	1,440	11	1,158	1,147
25.1.1	1,347,649	633,188	714,461	-0.072%	-966	-807	742	1,549	-159	959	1,118
25.2.1	1,346,535	632,638	713,897	-0.083%	-1,114	-994	816	1,810	-120	1,010	1,130
25.3.1	1,345,439	632,089	713,350	-0.081%	-1,096	-822	655	1,477	-274	992	1,266
25.4.1	1,338,988	628,706	710,282	-0.479%	-6,451	-797	704	1,501	-5,654	3,440	9,094

3月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		平15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3	22.3	23.3	24.3	25.3
自然動態	出生者数	909	1,036	854	925	831	844	814	847	797	742	704
	死亡者数	1,262	1,279	1,522	1,318	1,296	1,327	1,327	1,447	1,579	1,498	1,501
	自然増減数	-353	-243	-668	-393	-465	-483	-513	-600	-782	-756	-797
社会動態	県外からの転入者数	4,746	4,532	4,133	4,191	3,722	4,045	4,158	4,069	2,887	3,822	3,440
	県外への転出者数	10,366	9,993	10,234	9,790	9,987	9,894	9,211	8,558	5,920	8,691	9,094
	社会増減数	-5,620	-5,461	-6,101	-5,599	-6,265	-5,849	-5,053	-4,489	-3,033	-4,869	-5,654
増減数計		-5,973	-5,704	-6,769	-5,992	-6,730	-6,332	-5,566	-5,089	-3,815	-5,625	-6,451

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月以降の人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

## 2 本県の経済動向

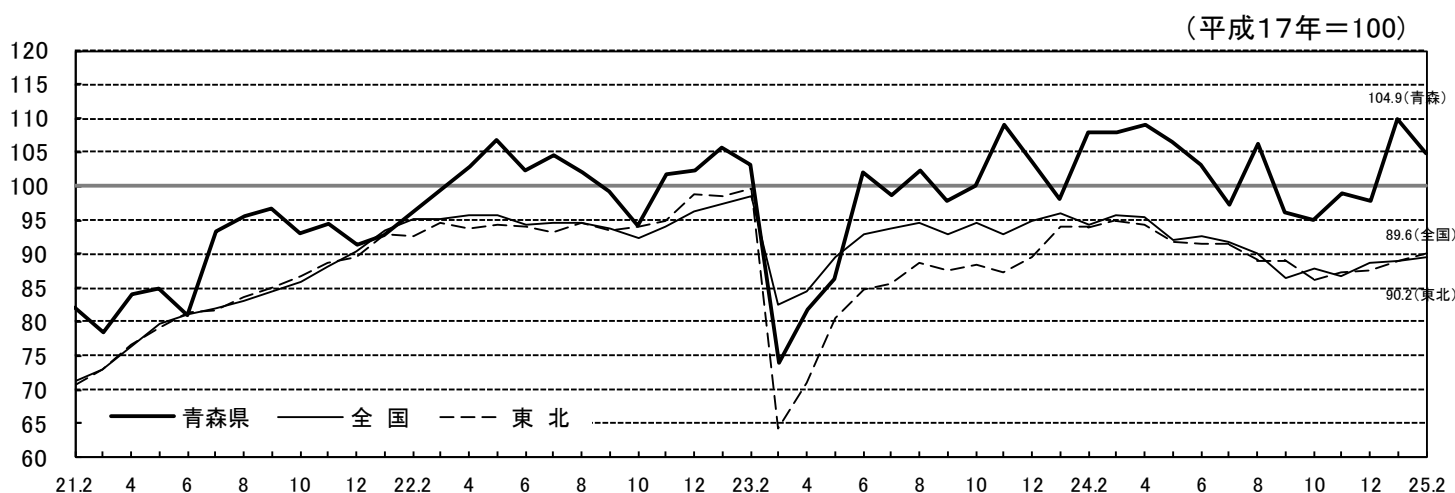
### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 製造業の生産

平成25年2月の青森県鉱工業生産指数(平成17年=100)は、季節調整済指数が104.9で、前月比4.6%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は94.4で、前年同月比6.8%の低下となり、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、一般機械工業、金属製品工業、精密機械工業などが上昇に寄与した一方、電子部品・デバイス工業、食料品工業、化学工業などが低下し、鉱工業全体では4.6%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

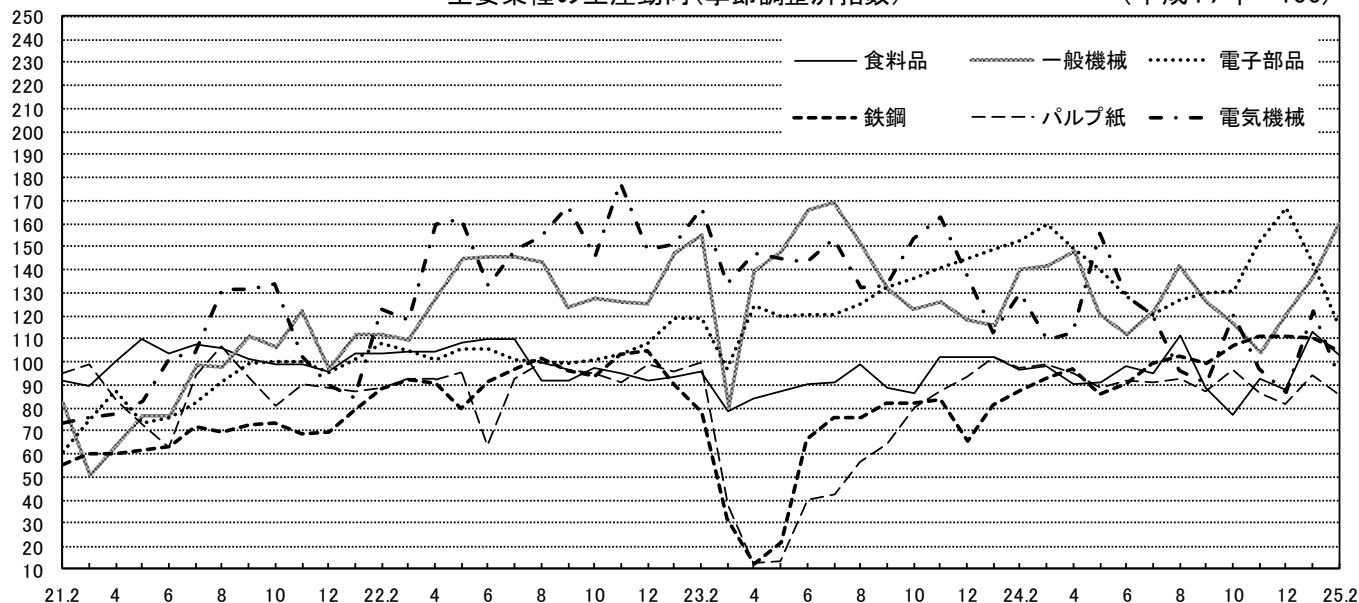


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 -4.6%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
一般機械工業	16.6	46.5	電子部品・デバイス工業	-18.6	-47.9
金属製品工業	19.2	14.1	食料品工業	-8.6	-35.6
精密機械工業	11.4	4.3	化学工業	-39.5	-27.3
プラスチック製品工業	11.9	1.8	電気機械工業	-22.9	-25.1
輸送機械工業	7.5	1.1	パルプ・紙・紙加工品工業	-9.2	-11.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成17年=100)



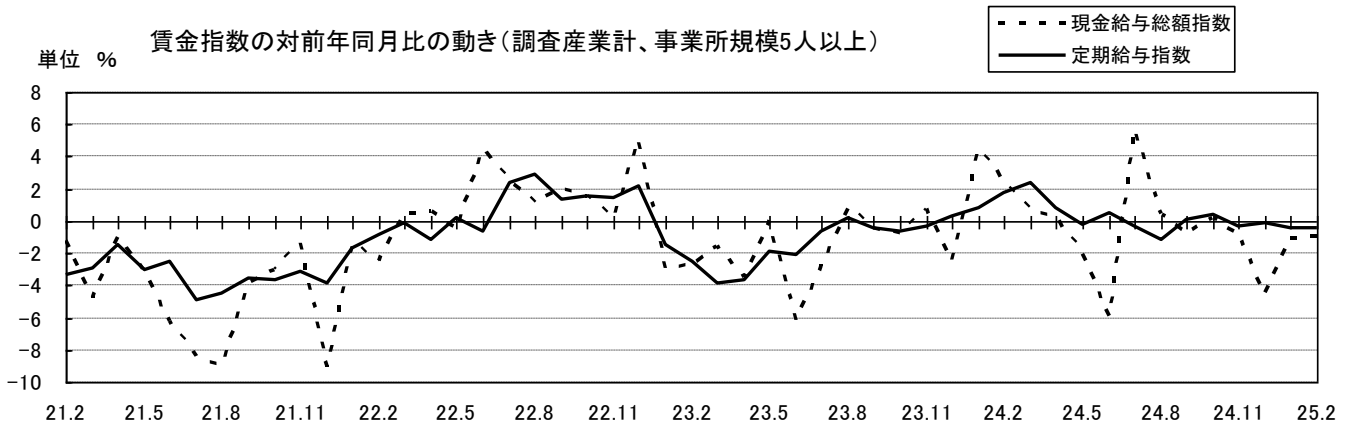
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

## (2-2) 雇用情勢

平成25年2月の定期給与は217,688円で定期給与指数(平成22年=100)では98.9となり、前年同月比0.4%減(現金給与総額218,608円、現金給与総額指数84.7、前年同月比0.9%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.9となった。

総実労働時間は149.5時間で、総実労働時間指数は96.7となり、前年同月比2.6%減となった。このうち、所定外労働時間は8.9時間で、所定外労働時間指数は97.8となり、前年同月比0.0%となった。

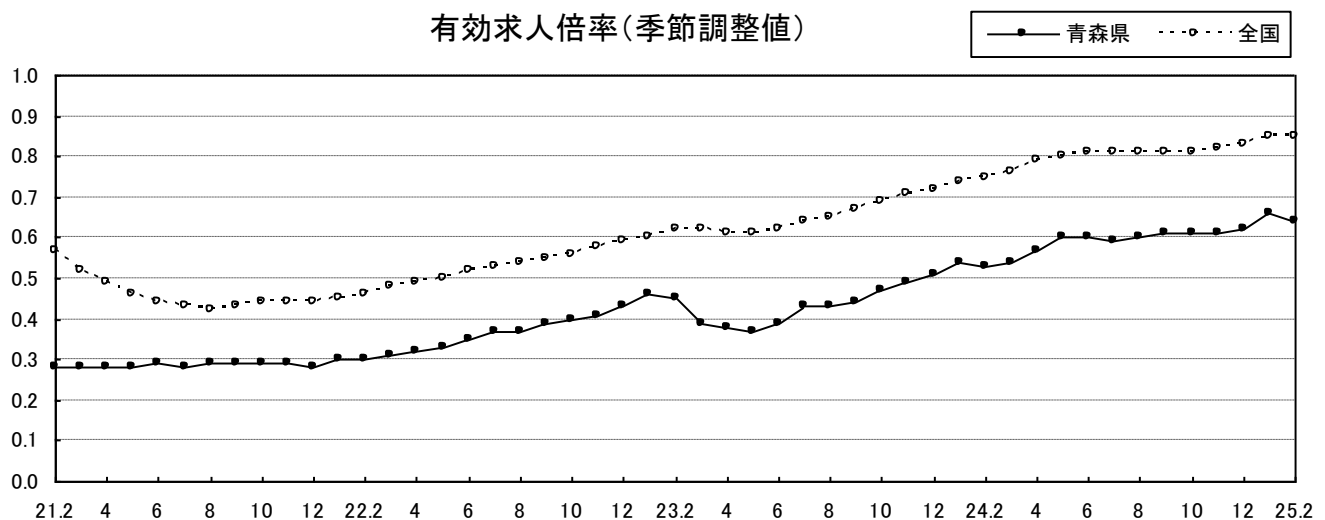
平成25年2月の有効求人倍率(季節調整値)は0.64倍で、前月を0.02ポイント下回った。  
(※3月分未公表につき前回報告と同じ)



賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	218,608 円	262,355 円	84.7	82.8	-0.9 %	-0.8 %
定期給与	217,688 円	259,417 円	98.9	98.7	-0.4 %	-0.9 %
特別給与	920 円	2,938 円	—	—	—	10.7 %
総実労働時間	149.5 時間	142.9 時間	96.7	97.5	-2.6 %	-3.5 %
所定内労働時間	140.6 時間	132.6 時間	96.6	97.2	-2.8 %	-3.8 %
所定外労働時間	8.9 時間	10.3 時間	97.8	101.0	0.0 %	-1.0 %

- (注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。  
2.前年同月比は指数によって算出している。  
3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。  
資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

## (2-3) 物価

平成25年3月の青森市消費者物価指数（平成22年=100）は、総合指数が99.0となり、前月と比べ0.1%の下落、前年同月と比べ1.6%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は99.2となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ1.0%の下落となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は97.2となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ1.3%の下落となった。

総合指数が前月と比べ0.1%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、光熱・水道などの下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ1.6%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、住居などの下落が要因となっている。

図1 総合指数の動き

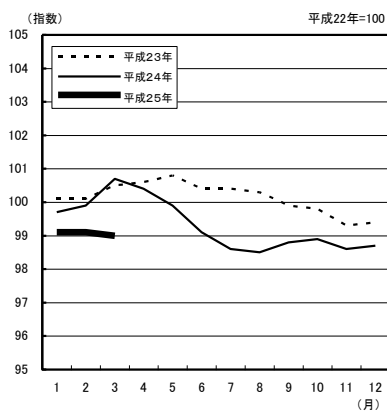


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

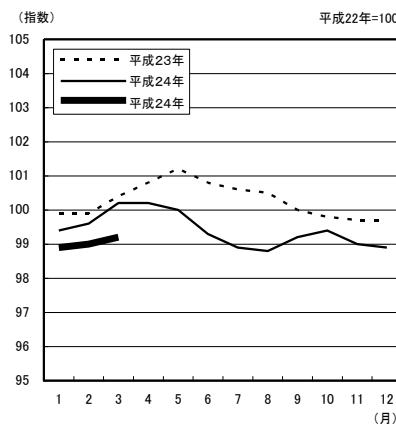
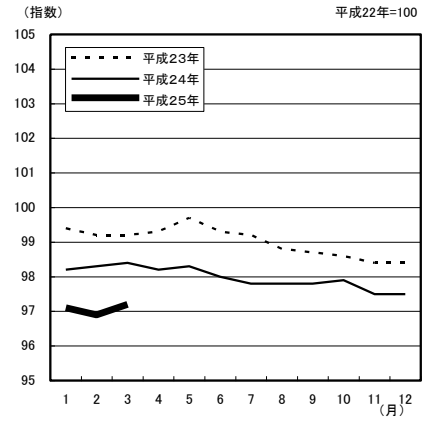


図3 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き



## 10大費目指数の動き

(平成22年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被及履	服び物	保医	健康	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
□ 当月指数	99.0	99.2	99.2	97.2	97.0	95.1	98.1	111.2	89.7	99.3	98.0	102.8	96.7	90.4	104.4			
前月比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 5.4	▲ 0.1	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 1.4	▲ 0.7			
寄与度	—	0.17	▲ 0.08	0.22	▲ 0.24	▲ 0.24	0.01	▲ 0.11	▲ 0.01	0.06	0.01	0.04	0.00	0.13	0.05			
前年同月比 (%)	▲ 1.6	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 3.9	▲ 14.1	▲ 1.3	1.2	▲ 4.9	▲ 1.1	▲ 1.0	0.0	0.0	▲ 2.7	0.6			
寄与度	—	▲ 0.94	▲ 1.42	▲ 0.81	▲ 1.03	▲ 0.68	▲ 0.26	0.13	▲ 0.16	▲ 0.04	▲ 0.04	0.00	0.00	▲ 0.25	0.04			

資料：県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比 (%) の値に一致する。

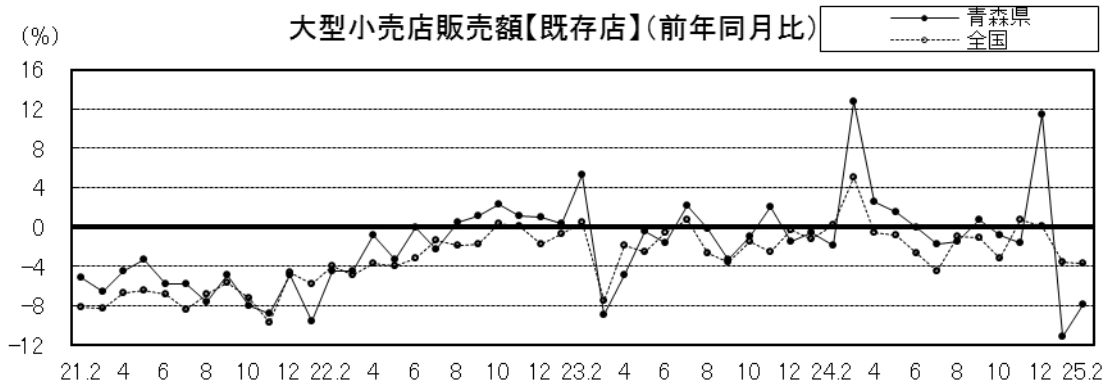
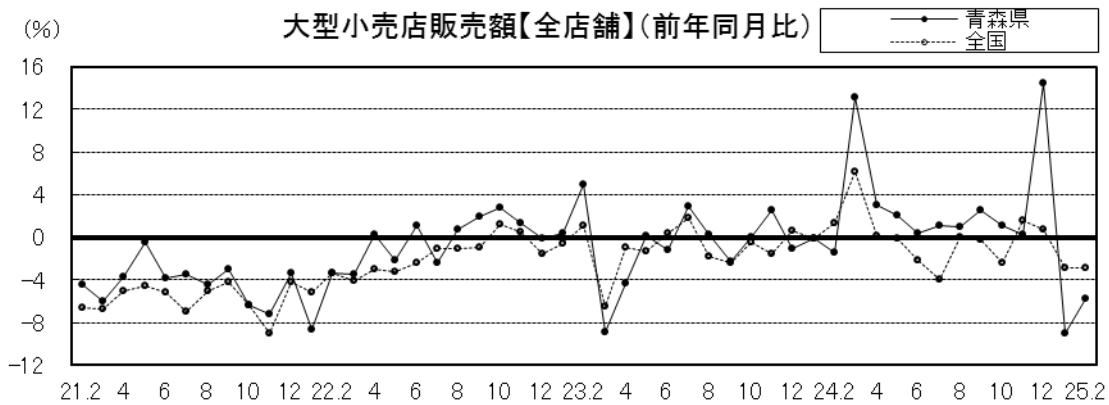
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

## (2-4) 個人消費

平成25年2月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが130億8,400万円で前年同月比5.7%減となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは7.9%減となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。衣料品、飲食料品などが低調であったこと及び前年がうるう年であったことなどによる。

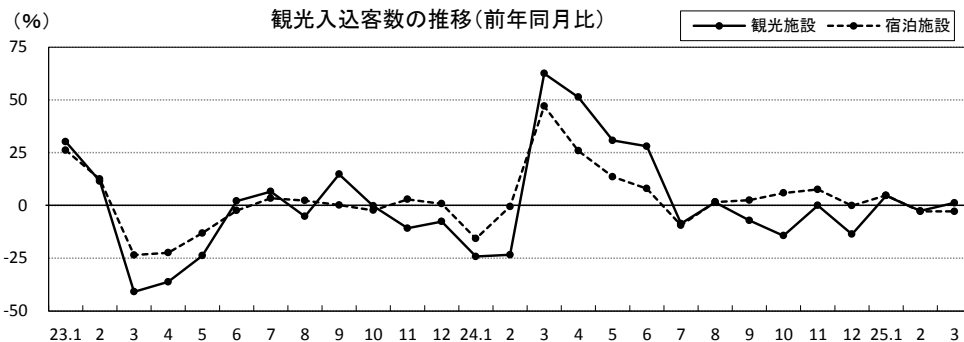
平成25年3月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比1.2%増となり、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は2.8%減となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。観光施設は青森市などの施設で増加し、宿泊施設は弘前市、八戸市、むつ市で減少したことによる。

平成25年3月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は6,814台で、前年同月比5.4%減となり、3ヶ月連続で前年同月を下回った。普通車、小型車が減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

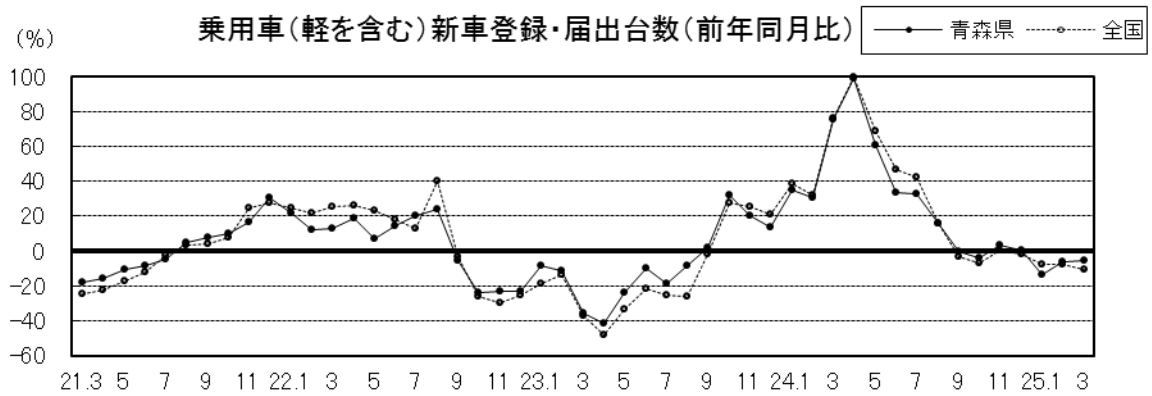
- \* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：県観光企画課「月例観光統計」

※観光施設 36 施設 (H23 年は 34 施設対比)、

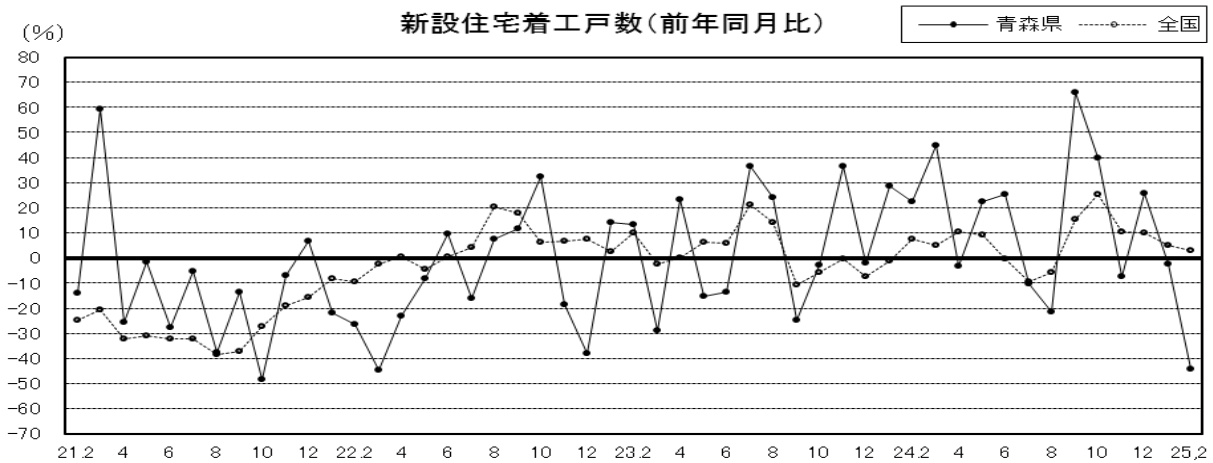
宿泊施設 57 施設 (H23 年は 56 施設対比、H24 年は 52 施設対比)



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

**(2-5) 住宅建設** (※3月分未公表につき前回報告と同じ)

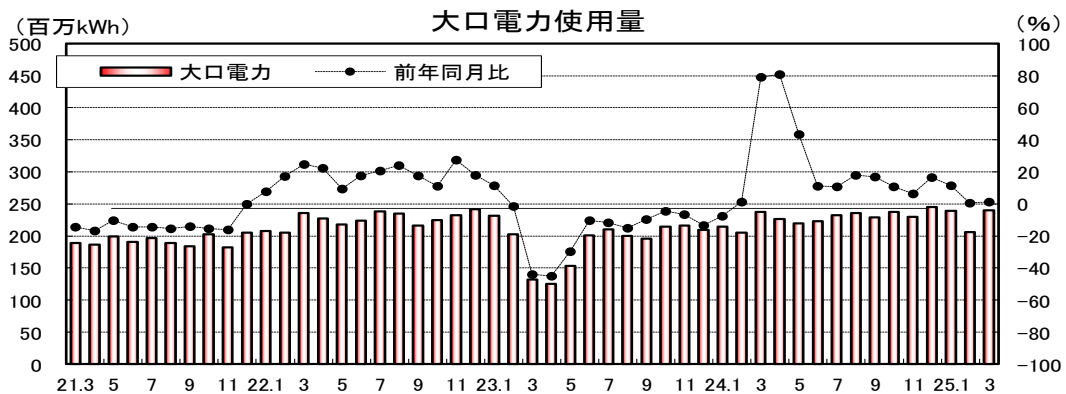
平成25年2月の新設住宅着工戸数は145戸で、前年同月比44.4%減となり2ヶ月連続で前年同月を下回った。貸家、給与住宅、分譲住宅が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

**(2-6) 電力使用量**

平成25年3月の大口電力使用量は2億4023万kWhで、前年同月比1.3%増(一昨年同月比81.7%増)となり、14ヶ月連続で前年同月を上回った。公益事業が減少したものの、鉱業などが増加したことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

### (3) 青森県景気動向指数

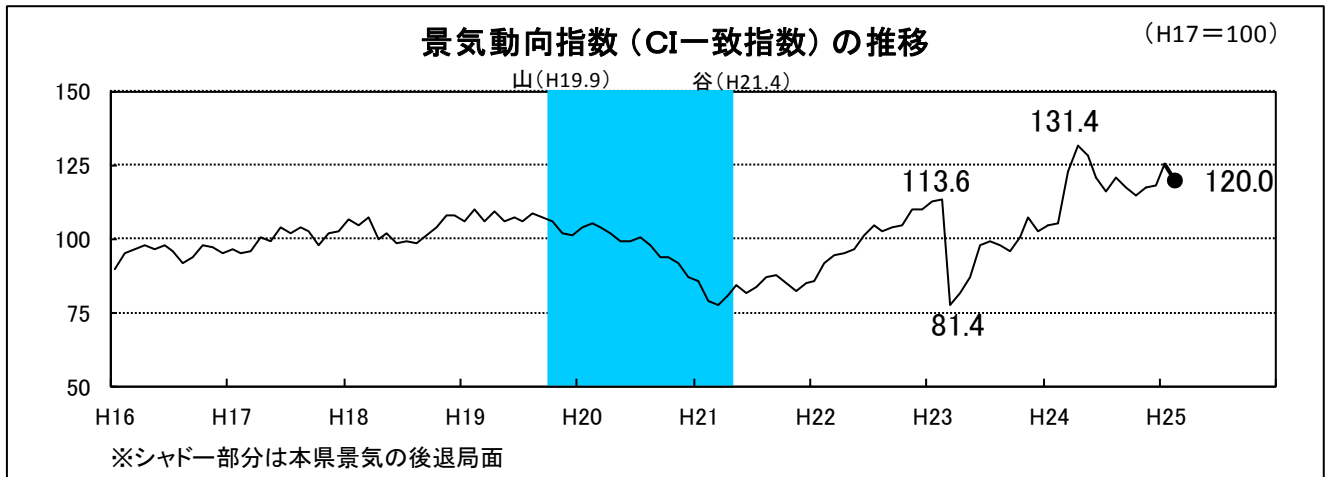
平成25年2月の青森県景気動向指数(CI)は、先行指数 108.7、一致指数 120.0、遅行指数 95.9 となった。

先行指数は、前月を 5.3 ポイント下回り、3 か月ぶりに下降した。

一致指数は、前月を 5.0 ポイント下回り、4 か月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を 2.9 ポイント下回り、3 か月ぶりに下降した。

2月の一致指数は、生産・雇用関連等の指標がマイナスになったことから、下降した。



#### ●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています)

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
<b>先行系列</b>					
乗用車新車登録届出台数	1.84	3か月ぶり	生産財生産指数	-4.07	3か月ぶり
中小企業景況DI	1.64	3か月ぶり	新規求人倍率(全数)	-3.34	3か月ぶり
建築着工床面積	0.86	2か月連続	新設住宅着工床面積	-3.19	2か月連続
企業倒産件数	0.84	3か月ぶり	所定外労働時間指数(全産業)	-0.03	3か月ぶり
<b>一致系列</b>					
大型小売店販売額(既存店)	1.32	2か月ぶり	大口電力使用量	-2.68	2か月連続
輸入通関実績(八戸港)	0.71	3か月連続	有効求人倍率(全数)	-1.66	3か月ぶり
			鉱工業生産指数	-1.33	2か月ぶり
			東北自動車道IC利用台数	-1.09	3か月連続
			旅行取扱高	-0.22	2か月ぶり
<b>遅行系列</b>					
家計消費支出(勤労者世帯:実質)	0.69	2か月連続	常用雇用指数(全産業)	-1.03	3か月ぶり
			現金給与総額(全産業)	-0.97	3か月ぶり
			公共工事請負金額	-0.72	3か月ぶり
			りんご消費地市場価格	-0.39	2か月連続
			県内金融機関貸出残高	-0.33	2か月ぶり
			青森市消費者物価指数(総合)	-0.28	7か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数 (DI)		
先行指数	50.0%	(2か月連続で50%を下回った後3ヶ月連続で50%となった)
一致指数	57.1%	(2か月ぶりに50%を上回った)
遅行指数	28.6%	(4か月連続で50%を下回った)



#### (4) 青森県景気ウォッチャー調査（平成25年4月期）

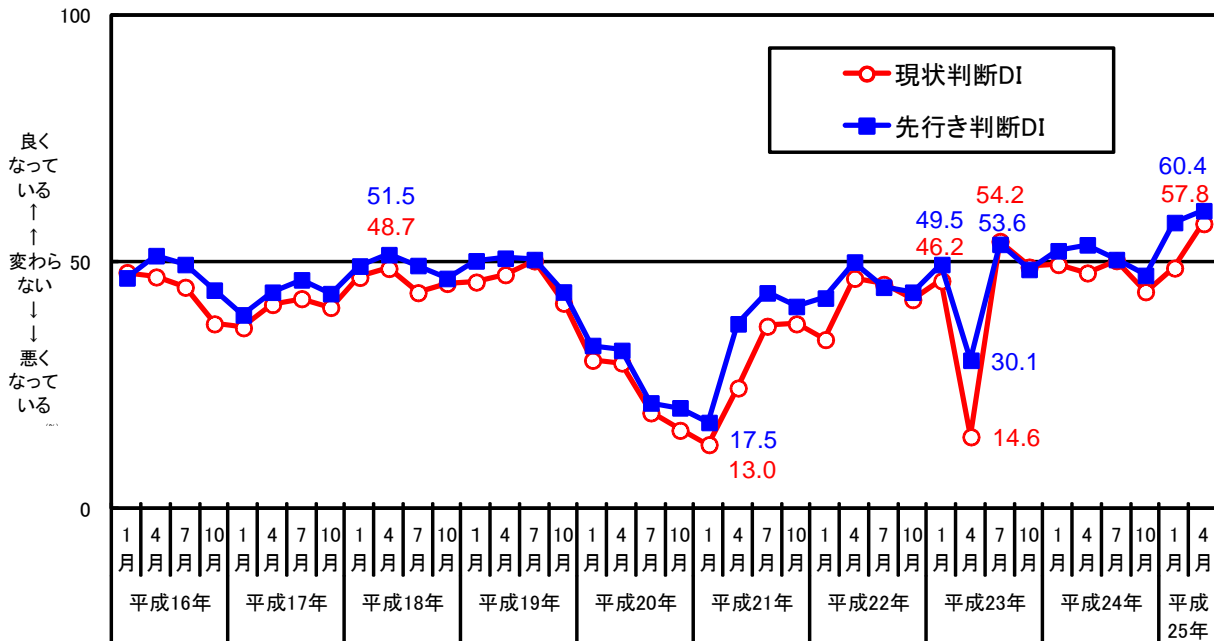
3か月前と比べた景気の現状判断DIは、前期調査と比べると9.0ポイント増加の57.8となり、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに上回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは、前期調査と比べると2.4ポイント増加の60.4となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

現状判断、先行き判断ともに、平成13年10月の調査の本格開始以降、過去最高となった。

（調査期間 平成25年4月1日～4月12日 回答率 100%）

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



#### ● 3か月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント減少、「やや良くなっている」が25.0ポイント増加、「変わらない」が11.0ポイント減少、「やや悪くなっている」が9.0ポイント減少、「悪くなっている」が3.0ポイント減少したことにより、全体では9.0ポイント増加の57.8と、平成13年10月の調査の本格開始以降、過去最高となり、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに上回った。</p>
向	<p>判断理由では、景気回復が県内にまだ波及していないことや円安による原材料費などの物価上昇といったマイナス面をあげる声がある一方で、豪雪だった前期から春になって来客数や客単価が向上したなどの季節的要因のほか、「客の雰囲気がいい」など直感的な明るい兆しをあげる声も多くあった。</p> <p>地区別では、前期調査と比べて、全地区で増加し、東青、津軽、県南地区では景気の横ばいを示す50を上回った。</p>

#### ● 3か月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント減少、「やや良くなる」が5.5ポイント増加、「変わらない」が1.6ポイント減少、「やや悪くなる」が0.1ポイント増加、「悪くなる」が3.0ポイント減少したことにより、全体では2.4ポイント増加の60.4と、平成13年10月の調査の本格開始以降、過去最高となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。</p>
向	<p>判断理由では、景気回復の県内波及に対する疑問視や、所得が上向かない中で消費増税や物価上昇を懸念する声もあったものの、春の観光シーズンに向けての消費増加のほか、円安と株高を背景とした景気上昇、景気対策効果の県内への波及期待、消費増税前の駆け込み需要を見込む声が多くあった。</p> <p>地区別では、前期調査と比べて、県南、下北地区でポイントが減少したものの、前期に引き続き全地区で景気の横ばいを示す50を上回った。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

### ● 3か月前と比べた景気の現状判断理由

- ◎ 寒さも和らぎ人出も上々。いつもの年より平日も人出が落ちないように感じる。(一般飲食店・東青)
- 3ヶ月前は冬季真っ只中で、日中の雪も多かったため、購買欲も薄く、1～2月はスーパー、コンビニ等の売上がかなり減少していた。(卸売業・東青)
- お客様の雰囲気が違う。実質の収入まではまだだが、景気の「気」はいい。(衣料専門店・東青)
- 4月の予約が前年同月比で96名増となっている。(観光型ホテル・旅館・津軽)
- 求人広告が出てきた。(新聞社求人広告・津軽)
- 新規引き合いが増えている。(今までとは違う業界。世間の事業シフト、事業環境の変化を感じる。)(電気機械製造業・県南)
- カテゴリでの価格販売をみると、まだ低価格ラインの指示が高い。(家電量販店・東青)
- 中小企業においては、所得向上などまだまだ目に見えるものではなく、大手と違い温度差があると思う。(卸売業・津軽)
- 良くなって欲しいという願望が先行しているが、実態の景気はデフレ基調から抜け出せていない。(食料品製造・県南)
- アベノミクスで景気が良くなる機運になっているが、実際は円安で石油の価格が上昇し、家計や会社の経費を圧迫している。(ガソリンスタンド・下北)
- △ 冬期間(閑散期)の悪い状況が続いている感がある。(都市型ホテル・東青)
- △ 今年の大雪で出費が多くなったので、生活を切り詰めている様子。(タクシー・東青)
- △ 飲み屋街を歩く人々が減っていると感じる。(スナック・下北)

### ● 3か月後の景気の先行き判断理由

- ◎ 今後ますますアベノミクスの効果が出てくると思われる。(スーパー・東青)
- 実質的にこの半年間の売上は好調で、景気の好転が企業成績にも現れていることが実感できる場面も現れてきた。青森市にも積極的な変化が欲しい。(衣料専門店・東青)
- 円安関連で商品の値上げ問題もあるが、底は脱した感がある。(卸売業・東青)
- 消費税アップ前の駆け込み需要と思われる案件が多少出てきている。(住宅建設販売・津軽)
- 春とともに弘前といえば桜。これから地元の人、観光客も多くなると思う。(一般飲食店・津軽)
- 見積り依頼が多くなり、実質受注可能物件も増えている。今までの様な見積り倒れ物件は少なくなると思う。(広告・デザイン・津軽)
- 株価の上昇等、良くなっていく傾向にある。特に悪化する要因が見当たらない。(家電量販店・県南)
- 7月の参議院選挙までは少しは経済政策が良い方向へ行くのではと思う。(設計事務所・県南)
- 雰囲気だけは実感がある。取引先等の何とかしようという工夫や努力が感じられ、大きな流れになるのではないか。(飲料品製造・県南)
- 円安からの価格変動での買い控えが増えそう(特に高額商品)。生活消耗品の利益率の低下。(家電量販店・東青)
- 賃金の上昇が注目されているが、青森県ではさほど反映されないのではないか。(商店街・東青)
- 給料は変わらなくても、ガソリン代等物価上昇の傾向にあるので、節約傾向に。(タクシー・津軽)
- 特にこれといったものがない。下北地方はやはり原子力関係の事業が動かなければ変わりようがない。(タクシー・下北)
- △ 新年度入りして明るさが期待される反面、円安から燃料、電気料、食料品関係の値上げが控えており、この価格転嫁は難しいとみられ、収益に影響が出そう。(経営コンサルタント・東青)
- △ 物価上昇の一方で、所得の向上が見込めない。(コンビニ・津軽)
- △ 人口減少に対して小売業の店舗が増えて競争が厳しくなる。食材の原価高騰が続くため、利益のコントロールも厳しくなると思われる。(スーパー・県南)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」